

2024年はどんな年になるであろうか（548号）

2024年 1月 石館

皆さま明けましておめでとうございます。

今年は辰年、私の干支です。前回の辰年は2012年でその時は次の自分の干支まで果たして生きているであろうかと思ったものですがそれから12年何とか生き延び4月には84歳となります。



辰年は十二支の中で唯一、架空の生きものです。巷では辰年の人は上り龍で、仕事や学業で大きな成果をあげる可能性が高いとも言われています。

努力が足りなかったのか私にはそのような機会は結局訪れませんでした。随分失敗を重ねたにしては後に多少挽回のチャンスを与えられたのは、やはり辰年のお陰かもしれないと思っています。

過去の辰年では、2012年京都大学の山中教授は、成熟した細胞を多能性幹細胞（IPS細胞）へと初期化できることを発明しました。この発見は、再生医療の分野に革命をもたらす画期的な成果として、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

2000年にはシドニー五輪が開催され、陸上女子としては史上初の金メダルを獲得した高橋尚子、また女子柔道史上初の金メダルを獲得した田村亮子など女子の活躍で史上最多の18個のメダルを獲得した。今年の辰年はパリオリンピックが開かれどのような結果になるのでしょうか。

1988年には、世界最長の全長54キロの青函トンネルが完成しました。開通まで1400万人を超える作業員が携わり、工事期間は24年間にも及びました。日本の土木史上最大のスケールを誇る仕事でした。

ひいき目かもしれませんが辰年には努力した結果が実を結ぶような出来事が多く起こっています。さて今年日本で果たしてどのようなことが努力の結果として現れるのでしょうか

昨年のレジメで米国の調査会社ユーラシアグループによる 2023 年の 10 大リスクの発表を引用しました。

2023年 ユーラシア・グループが予測する 「10大リスク」	1	「ロシア」。世界で最も危険な「ならず者国家」に。ウクライナからは撤退しない
	2	「中国の習近平国家主席」。権力は集中したが「大きなミス」の可能性も
	3	「人工知能」。自動生成される偽情報の拡散で社会の混乱を招くおそれ
	4	「インフレ」。世界各地で政治的な不安定につながる
	5	「イラン」。抗議デモ弾圧などで欧米とさらに対立する
	6	「エネルギー危機」。特に今年後半に需給が逼迫（ひっばく）する見通し
	7	「健康や教育に関する指標の低下」。女性や少女が最も影響を受ける
	8	「米国の分断」。政治的暴力のリスクが引き続き存在する
	9	「米欧の過激なZ世代」。1990年代半ばから2010年頃に生まれた世代が新たな政治勢力に
	10	「水不足」。世界の企業の3分の2が水不足に直面する

この1-10までの10大リスクは大体当たっているが、しかし誰でも考えつくようなことを羅列しているだけでいまいち迫力がない。2)の中国の経済不振はより深刻になっている。

またハマスとイスラエルの戦闘は世界中で誰も予測が出来なかったと思う。

小生はこのユーラシアグループの予測に加え独断と偏見で独自の予測を

昨年加えた。1)プーチンの死亡、2)中国における暴動の頻発、3)北朝鮮体制の崩壊、4)新たな感染症、5)EUと中国の更なる離反、6)異常気象の頻発、7)世界的な食糧危機

- 1) プーチンの死亡は見事に外れた。2) 中国は監視体制の強化で大規模な暴動は起きにくくなっているが無言の暴動ともいえる富裕層、優秀な人材の国外逃避が急増している。
- 3) 北朝鮮は崩壊の道を進んでいると思う。4) 新たな感染症として新型インフルエンザが世界的に大流行の兆しがある。
- 5) 一带一路のイタリーの離脱もあり中国とEUの離反は進んでいる。6) 今年の暑さや豪雨は過去無かった激しさであった。7) 異常気象、ウクライナの穀物輸出の停滞で新興国の食糧事情が悪化した。

小生の予測は特別目新しいものでなかったが総じて当たっていたと思う。しかし10月のハマスの奇襲攻撃は全く予想の範囲外であった。では今年は何かが起きるであろうか。このレジメを書いている1月1日現在ユーラシアグループの2024年の予測は発表されていないので、今年是我的予測のみを勝

手に書き連ねたいと思います。限られた情報源と衰えた頭脳で考えたもので、こんな考え方があるなという程度の参考にして頂きたい。今年は注目すべき選挙がいくつかあるが、やはりその中で最大の注目は米国の大統領・議会選挙である。

資料2 2024年の主な選挙

1月	台湾総統・議会選
3月	ロシア大統領選
4月	韓国総選挙
春	インド総選挙
6月	欧州議会選
夏	(パリオリンピック)
9月	自民党総裁選
11月	アメリカ大統領・議会選
(未定)	イギリス総選挙

米国の選挙を中心に、選挙の順序に予測を述べたい。またそれに加えウクライナ情勢、ハマス・イスラエル戦闘、中国についても予測を付け加える

まず1月13日にある台湾の総統・議会選であるが、これは単に人口2300万人の小国の選挙ということでなく、世界の注目

を浴びている。現時点で与党の民進党の頼候補が世論調査では頭一つ抜きんでいるが、小生は僅差で野党国民党の候補が勝利するのではないかと、思っている。

心情的には民進党に勝たせたいが、国民党政権になると中国は平和的に統一をさせる戦略に切り替える可能性があり、あながち悪いことばかりではないとの見方もできる。

ロシアの大統領選は仕組まれた信任投票であり、結果は初めから分かっている。韓国総選挙は、日本との関係改善を図っている与党“国民の力”は定数300議席のうち111議席しかない。過半数が目標だが、野党の“共に民主党”の方が議席が多く、大敗するようであれば、日韓関係は厳しくなる。

インドはグローバル・サウスのリーダー的存在になり、世界の中で影響力が増したモディ政権は今度の総選挙でも勝利する可能性は高い。ただ最近のモディ政権は、強権主義が目立ち始め、インドはもはや民主主義国家とは言えなくなっている。

6月には欧州議会選があるがこの選挙で極右が票を伸ばし、欧州の分断が進むのではないかと

米大統領選挙は本年早々から予備選挙が始まる。民主党はバイデンが今のところ無風状態で民主党の候補になるであろう。共和党はトランプが60%程度の

ダントツの支持率でよほどのことがない限り、トランプが共和党の候補になるであろう。

2016年の大統領選挙で、ヒラリー・クリントンと争った時、大方の下馬評を覆しトランプが大統領の座を射止めた。その時ダイヤモンド社の表題で“もしトラ”



“もしトラ”（もしトランプが大統領になったら）が評判になった。今年11月の大統領でも“もしトラ”の再来かとも言われている。トランプが大統領になったら世界秩序が激変するであろう。

今年世界が最も注視しているのは、ウクライナ侵攻の行方、ハマスとイスラエルの紛争、台湾情勢についてであろうが、米国の大統領選挙の結果がこれらの事案に大きく影響を与えるであろう。ただ新しい大統領が就任するのは来年であり、“もしトラ”があっても強い影響を及ぼすのは来年であろう。

ウクライナ情勢は欧米の支援疲れや、米国議会の反対で、ウクライナは劣勢になってきており、欧米の新型兵器でロシアを後退させ、有利な条件で停戦交渉を行うというシナリオは破綻してきている。今年の早い時期からたとえウクライナが劣勢でも何らかの停戦交渉の模索が欧米より出てくると思う。これぞ正にプーチンの思うつぼである。

イスラエルとハマスの紛争は、ウクライナの場合と違って長くは続かないと思うが、問題はその後ガザ地区の統治をどうするかである。

一つの案として、ヨルダン川西岸を統治しているファタハをハマスに代わって統治させることも考えられるが、しかしファタハのアッバース大統領は88歳と高齢であり、統治能力にも疑問があり果たしてうまくいくであろうか。イスラエルが直接ガザの統治をする案もあるがパレスチナ人の抵抗がさらに激化する可能性もある。

ロシアにとってはハマスとイスラエル紛争が長引いてくれる方が米国の支援が分断されて望ましい。ロシアが有利にウクライナと停戦を出来たら、最近ロシ

ア離れをしていた、中東欧諸国は、ロシアに回帰するのではないか。

トランプとバイデンはどちらが勝利するであろうか？トランプは4つの訴訟を抱えており、また互いに年齢によるボケの発言もあり、これから何が起きるかわからずその推移の予測は難しい。もし最高裁がトランプの出馬の可否を最終判断するとなるとトランプに有利な判決をするのではないか。80歳前後の異例の高齢対決になるが、小生はトランプが勝つと予測している。

世界の異常気象の頻発は、最早当たり前のことになって異常とは言えなくなっている。今年も昨年を超えた暑さと干ばつに見舞われるであろう。

中国はGDPの3割弱を占める不動産市況の悪化は歯止めがつかなくなっている。若い世代の高い失業率、人口の減少、少子高齢化等コロナ禍で傷んだ中国经济は国民の将来に対する期待値をさらに低下させるであろう。共産党は経済が回っているうちは政権の存在価値があるがこれが崩れれば国民を引っ張っていけない。そこで荒唐無稽な“習近平思想”なるものの学習運動が強化されている。今年是中国で何かは分からないが、大きな事件が起きるような予感がする。

P.S

元旦早々能登半島で大地震が起き多くの方が亡くなった。また2日にはJALの着陸失敗で奇跡的にJALの乗客、乗員は脱出できたが、巻き添えを食った能登半島に救援物資を運ぶ途中の海保機の乗員5人が亡くなった。2024年は波乱の幕開けとなったが、亡くなられた方々には謹んでご冥福をお祈りいたします。